

あじえんだ 冬

2000

第2号

2000年1月15日発行

京 みやこ

のアジェンダ21フォーラム
ニュースレター



未来に残したい...
京の知恵

おばんざい

しかし大切なことは、
簡素食だからこそ一つ一つの本当の味に
寄り添えること。
粗食ではなく「素食」であり
日常暮らしの「ケ」の食であること。
それでこそ時には
贅沢な「ハレ」の食事にもトキめく。
ハレとケがあつてこそ
暮らしに美も生まれる。
毎日のケを楽しんで
お金に余裕が出たら、
ひとつ祇園のお座敷に
出かけてみましょうか。

写真 冬の典型的おばんざい。

「おだいとお揚げ」「しろまめ」

「大根のお漬け物」

協力 下京区油小路通仏光寺下ル

「秦家」

*詳しくは5ページをご覧ください

京のアジェンダ21フォーラム
事務局
〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上る
上本能寺前町488番地
京都市環境局環境企画部
地球環境政策課内
TEL 075-222-4037
FAX 075-222-4039

西村 仁志

京都市在住。「環境共育事務所カラーズ」主宰。

「京のアジェンダ21フォーラム」エコツーリズムワーキンググループ運営委員。

京都YMCA職員を経て、1993年に「環境共育事務所カラーズ」を設立。参加体験型による環境教育プログラム、国内外へのエコツアーなどの企画・実施を行っている。



アジェンダを語る

MIYAKO no Agenda21

京都は言わずと知れた日本一の観光都市。しかし、観光は、交通渋滞やごみ問題といった思わぬ環境負荷をもたらしています。そこで、このアジェンダフォーラムの「エコツーリズムワーキンググループ」は、観光のエコロジー化を図り、環境と人にやさしい旅のあり方を提案していこうと活動を始めました。

しかし、まず「エコツーリズム」とは何を指すものなのでしょうか。そして、ここ京都では、どのようなエコツーリズムが実現可能なのでしょうか。

そこで今回は、「環境共育事務所カラーズ」を主宰し、自らも国内、海外へのエコツアー企画をされ、内外のエコツーリズム事情に詳しい西村仁志さんにお話をうかがいました。



京都、大文字山でのエコ修学旅行

エコツーリズムとは何か

「エコツーリズム」や「エコツアー」という言葉が、いろいろなところで見られるようになってきましたね。

従来型の観光開発、つまり大量に観光客を呼び込んで、資源を大量消費・大量廃棄していくような観光のあり方への反省から生まれた新しい観光と地域づくりへの取り組みです。自然資源を大切に、かつ地域経済の自立的、持続的発展に貢献することをめざしています。海外ではコスタリカやガラパゴス、オーストラリアなどでの取り組みが有名ですが、日本でも屋久島や西表島などで取り組みがはじまりました。

「エコツアー」とは、エコツーリズムの考え方をツアーのかたちに具体化したもので、環境のなかで (in) 環境について (about) 環境に対する適切な倫理観と行動を促す (for)、

適切な人数の「ツアー」の形式のことです。一方で「エコツーリズム」は制度や経済活動など社会全体の仕組みを指します。

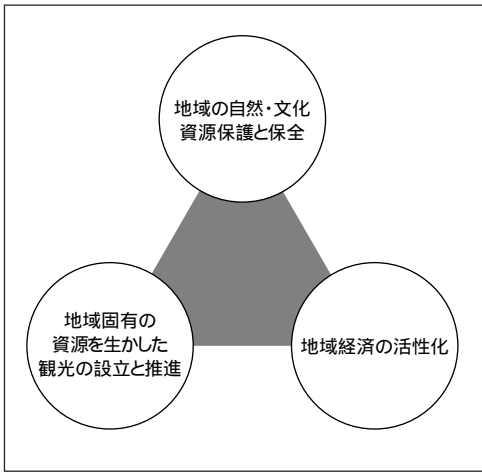
「社会全体の仕組み」とは？

観光産業のあり方と環境保全、地域振興の三つのバランスのとれた状態に社会全体を変えていくことが必要です。観光の形態を環境に配慮したものにしていくことで「エコ・シティ（環境都市）」をつくることにならなければならないわけですね。

京都発「都市型エコツーリズム」の提唱

京都は、歴史都市であると同時に、人口145万人余りを抱える大都市ですよね。そして年間4000万人近い観光客が訪れています。大自然ではない、このような大都市での「エコツーリズム」というのは可能なのでしょうか。

京都の1200年の歴史は | 山紫水



エコツーリズムの概念

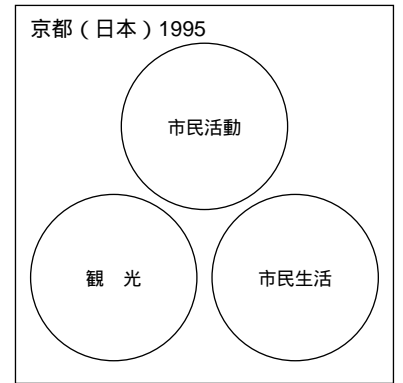
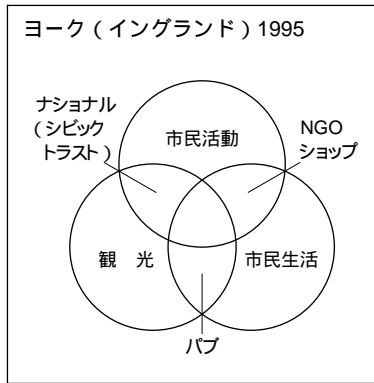
資源の持続なくして観光は成立せず
 地域住民の参画なくして資源は守れず
 経済効果なくして住民の参画は望めず



自然体験プログラム（石川県・白山にて）

参考

イギリス視察旅行での参考事例、イングランド北部の歴史都市ヨーク市で体験した観光と市民生活、市民活動の相関図。これらのあいだには豊かな接点がある。いまの京都ではどうか。



明」の自然環境と、芸術や文芸、宗教などの文化が相互に育みあってきたものです。この両者のつながりが今まで多くの観光客をひきつけてきた京都観光のいちばんの「光」ですし、これを大切に守り活かすことが京都に住まう者の責務でしょう。三山を含めたまち全体が「世界的遺産」と言えますからね。

そしてこれらの資源の持続なくして観光は成立せず、地域住民の参画なくして資源は守れません。そして、経済効果なくして住民の参画は望めないのです。だからこそ、観光産業と環境保護、地域振興が歩み寄り、バランスをとるかたちで、「京都エコツーリズム」を築いていく必要があります。

市民が主体となる観光と環境のまちづくり

「都市型エコツーリズム」のお手本になるような都市はあるので

しょうか。

1995年に、イングランド北部の歴史都市・ヨークへ視察旅行に行っただけですが、シビクトラスト（まちづくり市民活動団体）などの活動が盛んで、市民活動が仲立ちになって観光と市民生活とつながる仕組みがそこにありました。当時京都では観光客と一般の市民生活との間にあまり接点を見ることがありませんでしたから、非常に参考になりました。つまり観光客の受け入れを事業者だけに任せず、もっと市民がかかわることで、都市の魅力をもっと創出できるのではと考えたのです。市民が主体となってエコシティづくりをしていくことが、新しい観光の形態をつくることにつながっていくのです。

アジェンダフォーラムでは

私たち市民が「環境にやさしいまちづくり」に取り組むことが不可

欠なんですね。

そうです。京都発「都市型エコツーリズム」を実現するために、もちろん旅行者への「エコツーリスト」になってもらう呼びかけも大切ですね。また旅行代理店、宿泊・飲食・物販施設がそれぞれ「エコツーリズム・ガイドライン」を設定するようなことも必要でしょう。このアジェンダフォーラムでこのような京都全体の新しい観光と環境の仕組みづくりをめざして、京都のホテル・旅館などの環境面の現状調査、京都エコツアーのモデルプランづくり、観光事業者、市民、行政のパートナーシップづくりなどに取り組んでいます。

ありがとうございました。
 （聞き手 竹花由紀子）

西村さんのホームページ
 "Colors of Nature"
<http://www.colorsjapan.com>

国内におけるローカルアジェンダの取り組み

大阪府豊中市 「とよなか市民環境会議」



豊中では、とよなか市民環境会議という組織を中心に、環境行動がすすめられています。今回は、そのとよなか市民環境会議の中で、率先行動を進めていくワーキンググループの座長を務める奥野享さんに、お話を聞かせてもらいました。

Q.どのくらいの事業者や市民団体が関わっているのですか？

市民環境会議には153団体が関わっています。会長は市長、商工会議所とかPTA、消費者協会、青少年団体連絡会、教育委員会…といった人たちが関わっています。造園業会や建設業会なども。153団体の中には、市民労働団体で雑木林を守る会とか、キャンパスエコロジー、ヒメボタルを守る会など、環境関連の市民団体もかかわっています。6月に総会をやりました。

同時に、規則ではワーキンググループという組織をつくっています。とにかく行動しようということで動き出しました。自然部会、生活部会、産業部会、交通部会という具体的な率先行動をしていく4つのグループがあり、全部ひっくるめて1つでワーキンググループと呼んでいます。環境家計簿をつけたりとかのチャレンジコースを設定して、なるべく楽しみながらやってもらっています。

Q.豊中市民のみなさんはどんな形で参加をしているのですか？

市民の中で学習班をつくって、連続講座をやっています。講師料などは行政が負担しています。なるべく面白いものと思って、1回目はハーブについて先生を呼んできました。話のなかで環境のことにもスパイスとして触れてもらうという形を採りました。50人くらい集まって、若い人がけっこう参加してくれました。2回目は千里川のごみ焼却場を見に行き、そのあと川を見ながら自然観察会をしました。草や木の名前とかを教えてもらったり、川にこんな魚がいるよ、というのを教えてもらったりしましたね。ドイツと日本との環境意識の違いを、ドイツにしばらくいた人に話を聞いたりということもやっています。

イベントや勉強会などに参加して、そのまま関わっていく人が結構いますね。見様見真似で、本を読んだりして研究して、竹炭をつくるということをやっているんです。竹藪はほっておくと在来種を圧迫するので切らなければいけないですからね。そこでは、生物の先生が温度計をもってきて、煙の温度を測って蒸し焼きの状態を確認したりしてくれました。また、去年は町はずれでやったんですが、今年は、場所がなくて、いろいろ面倒な手続きをして、町中でやったんです。そうしたら、周辺の人が、家から炭になりそうなものをもってきてくれたりとか、たまたま犬の散歩で通りかかった人が以前に炭焼きをしていた人で、次も協力してくれることになったりとか、みんなの見える所でやるというのはいいことですね。

Q.事業者とはどんな形で提携しているのですか？

量販店とは、マイバッグキャンペーンを11店舗の店頭で行いました。「レジ袋はもらったらどうしますか」とか、啓蒙も兼ねてアンケートをとったりしました。チェーンストア協会に協力してもらって、粗品を配ったりとか。大概のところは販売促進と兼ねて協力してくれました。自分のところで作った買い物袋を売り出すところなどもありましたよ。

病院では、機密書類(カルテ)を再利用したりしましたね。病院側でも音頭をとってくれるひとがいて、きちんと溶解槽にもっていくところまで病院の人も責任をもって確認していました。まだ一度ですけれども、これからやっていってくれるでしょう。

それから、アイドリングストップのステッカーと環境家計簿をつくるということで、30団体ほどから寄付をいただきました。

Q.今後、とよなか市民環境会議はどう動いていくのですか？

豊中市では、市民の声を聞くところに力を入れています。市民の声を聞いて、年次計画をつくって、中間報告、審議会というサイクルをつくらうとしています。市町村がISO14001をとろうという動きがありますが、豊中市は組織の中でというより、市民とつくっていくという形で動いています。

豊中の特性だと思うのですが、インテリジェンスの高い町で、視野の広い人が多い。環境問題にも理解のある人が多いのではないかという気がしています。大阪大学の人にも相談にのってもらったりもしています。京都もインテリジェンスの高い背景があるのではないですか。

Q.たしかに、京都は文化に理解のある人が多いですね。それに学生も多く、京都市民の1割くらいを占めているんです。京都市民も含めて、これから何が行動しはじめようという人たちへ一言お願いします。

私は2020年の基本構想審議会の委員にもなっています。思いすぎかもしれませんが、議論をしていると、右肩上がり豊かな未来を描きたい気持ちから抜けきれないのでは、ということを感じます。人口の減少にしてもそれを受け入れるのに抵抗があったりして。豊かさの質を根本的に変えていきたいですね。

ゴミ、環境、福祉など市町村レベルにいろんな矛盾や悩ましい問題が集中しかけています。市民が下請けみたいに見える場合もあるけれど、自治体中心に新しい力があつまってエネルギーが生まれていくのではないだろうかと思います。これから必ず面白くなっていくと思っていますよ。
(聞き手: 宮田 晃一郎)

Q 環境問題といえば「ISO」。企業や自治体がこぞって取得をめざすISO。みんなの人気者ISO。ところで、ISOっていったい何？今さら恥ずかしくて人に聞けません。こっそり教えてください。(上京区 Y)

A 「ISO」とは「国際標準化機構 (International Organization for Standardization)」のこと。「国際規格」を扱う世界的な組織です。日本の国内規格には「JIS(日本工業規格)」がありますが、国ごとにバラバラの規格をもっているのは「日本製のネジをアメリカ製のドライバーで回せない」というようなことが起こり得ます。こうした不都合を解決するために、国際規格を制定しようとしてISOが設立されました。そして、その中で「環境ISO」と呼ばれるのがISO14000シリーズ。これらは、環境保全に向けての国際規格です。

中でも注目されているのが「環境マネジメント」に関する「ISO14001」。この規格を取得するためには、環境保全のための方針を立

て、その目的・目標の実現に向けた環境マネジメントシステム(EMS)を作成・運用し、さらに監査システムによってEMSを継続的に改善してゆく体制を確立することが必要です。環境ISOは、ヨーロッパなど海外の企業より取引条件として求められることが多く、また、環境配慮を求める消費者からの要請もあり、取得をめざす企業が非常に増えているのです。



このコーナーにご質問をお寄せください。質問は京のアジェンダフォーラム事務局まで。

未来に残したい... 京の知恵

其の式、

おぼんざい

だしを取った後の上等な昆布は刻んで山椒椎茸で塩こぶに炊いたり、身近な素材で丁寧につくられた常備菜。加えて冬ならばかぶら蒸しといった季節の野菜や魚を一品そえる。さらに「一五日にはいもぼう」のように月に何度かの「決まりごと」の献立で、暮らしの小さな歳時記をつくる。すこし前までであった、この町の日常の食が「おぼんざい」。

快適さと豪華さに目覚めてしまった我々は和洋中のフルメニューが当たり前、そのための「便利」な調理器具で台所をいっぱいにしてきた。しかし今、作る方もいただく方も少し疲れ気味のように、いろいろ食べてはいるが何か心は安らげない。そんなときはこの「おぼんざい」の知恵にもどりましょう。毎日の献立もあれこれ悩まず、食費も大いに節約できる。台所はスツキリ片付くし、冷蔵庫は清々しく気持ちよい。肥満とは縁遠くアスレチックに通うお金も時間も浮いて、素材生かしきりのワザで当然ゴミは感動的に減る。かつて京の暮らしに生きていたエコロジー。しかし大切なことは、簡素食だからこそ一つ一つの本当の味に寄り添えること。粗食ではなく「素食」であり日常暮らしの「ケ」の食であること。それでこそ時には贅沢な「ハレ」の食事にもトキメク。ハレとケがあつてこそ暮らしに美も生まれる。毎日のケを楽しんでお金に余裕が出たら、ひとつ祇園のお座敷に出かけてみましょうか。

恩地惇

(会員、環境デザイナー)

GK京都取締役社長



使い込まれたおぼんざいの調理道具
協力：下京区油小路通仏光寺下ル「素家」

ライフスタイルワーキンググループ



10月5日(火)に、堀孝弘さん(環境市民)による「グリーンコンシューマーワークショップ」を、11月16日(火)に、袖岡信明さん(気候ネットワーク)による「環境家計簿ワークショップ」(写真)を開催しました(ともにフォーラム会議室にて)。

エコツーリズムWGのエコロジー度チェックチームではこの度、「宿泊施設における環境問題に対する『お客様へのアンケート』」を実施しました。このアンケートは、宿泊施設の環境対策の中で、主に宿泊客が関係する事項に対しての、宿泊客の意識を調査するものです(右表)。京都市内のホテル、旅館、ユース、公共の宿、合計51施設にご協力いただき、現在までに約2500枚の回答を得ています。現在早急にアンケートを集計・分析しており、その結果を「エコツーリズム都市・京都シンポジウム」にて報告させていただく予定にしておりますので、どうぞご期待下さいませ。(表はアンケートの内容の概要を一部抜粋したもの)

分類	質問項目	回答形式
お部屋でのサービス	石けん、シャンプーなどをポンプ式容器に変更した場合	1. 賛同する
	トイレトペーパーを再生紙100%、シングル巻きに変更した場合	2. 賛同するが少し抵抗あり
	分別ゴミ箱を設置した場合	3. 賛同しない
	タオル、シーツなどの交換を要強制にした場合	4. わからない
食事	食事メニューへの環境配慮を、宿泊施設の選択基準として考慮するか。	1. 非常に考慮する
内装材・備品	内装材、備品への環境配慮を、宿泊施設の選択基準として考慮するか。	2. 少しだけ考慮する
		3. 全く考慮しない
総合	環境対策への積極的な姿勢を、宿泊施設の選択基準として考慮するか。	4. わからない

エコツーリズムワーキンググループ

企業活動 ワーキンググループ

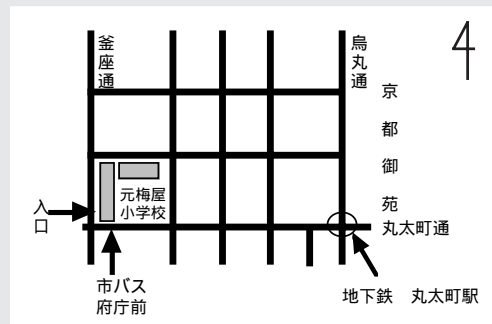
10月20日(水)に、グリーン購入ネットワーク・京都府・京都市との共催で、「グリーン購入フォーラム in 京都」を開催。会場の京都市勧業館(みやこめッセ)では、49の出展団体が、環境にやさしい自社製品の展示や、温暖化防止・リサイクルなどについての展示を行いました。延730名のご参加をいただき、大盛況のうちに終わりました。

各ワーキンググループ(WG)から報告とお知らせです。

フォーラム事務局より

会議室を月曜から金曜まで開室します!

2000年1月より、京のアジェンダ21フォーラム会議室が、月曜から金曜まで開室します(祝日除く)。開室時間は午前9時から午後5時45分まで。事務局アシスタントの佐藤、もしくは竹花が常駐しております。会員の皆さんの交流やグループのミーティングなど、お気軽にご利用ください(土・日・祝日や夜間の使用は応相談)。使用をご希望の方は、事前に事務局(京都市環境局地球環境政策課 TEL075-222-4037)まで。



会議室：京都市上京区釜座通丸太町上ル 元梅屋小学校2階 TEL&FAX. 075-254-1273

ml-agenda21@ml.kyoto-inet.or.jp ~ フォーラムのメーリングリストで情報交換・交流を! ~

アドレス登録ご希望の方は、フォーラム会議室(電子メール: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp)までご連絡ください。

ホームページを開設しました(URL: <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>)

イベント 情報

エコツーリズム都市・ 京都シンポジウム ～はじめよう、魅力ある観光(かんこう) と環境(かんきょう)の都市づくり～

日 時：2月10日(木) 午後1時～6時20分
場 所：ウイングス京都(中京区東洞院六角下ル)
主 催：みやこのアジェンダ21フォーラム・京都市
後 援：社団法人 京都市観光協会
参加費：無料
申込方法：2月5日(土)までに、事務局：京都市
環境局地球環境政策課(TEL.075-222-4037、
FAX.075-222-4039)まで直接お申し込み下さい

【基調講演】(午後1時～午後2時45分)

「これからのエコツーリズム都市・京都」

スピーカー：岡田知弘さん(京都大学経済学部教授)

【分科会】午後2時50分～午後5時40分)

テーマ1「まちづくりと観光・環境」

コーディネーター：西村仁志さん(環境共育事務所カラス)

情報提供：塚本桂一さん(北海学園北見大学教授・環境市民理事)

テーマ2「交通問題」

コーディネーター：能村 聡さん(環境市民)

情報提供：藤井 聡さん(京都大学大学院工学研究科助手)

テーマ3「修学旅行を考える」

コーディネーター：竹花由紀子さん(環境市民・エコツアー研究会)

情報提供：水口 保さん(株)教材研究所)

藤淵明宏さん(福岡県宮田町立宮田中学校校長)

テーマ4「旅館・ホテルのエコ化」

コーディネーター：十倉真未子さん

(京のアジェンダ21フォーラム・エコツーリズムWG)

情報提供：角新支朗さん

(京のアジェンダ21フォーラム・エコツーリズムWG)

向井征二さん(オービス環境マネジメント研究所所長)

柴原陽子さん

(ヒルトン大阪人事部トレーニングコーディネーター)

【全体会】(午後5時50分～午後6時20分)

【情報交換と交流会】午後7時～

情報交換と交流のつどい(自由参加・別途申し込み)

*翌日11日(祝)は「京の町家探検」などの
フィールドワークショップを行います。

ご寄付のお礼

フォーラムも次第に参加者の数も増え、様々な活動が活発になされるようになってきて喜ばしい限りです。そのような状況の中で、やはり先立つものは資金であって、フォーラム代表を仰せつかったものとして、その獲得に何か出来ることはないかと、日頃頭を痛めていたところです。

そのような最中に、ある篤志家の方から相当額の寄付のお申し出を頂きました。思いもかけない有り難いお申し出であり、幹事の方達とも相談し、喜んでお受けすることに致しました。お伺いしてみると、特にまとまった所得があったというわけではなく、高校教員として長年務められた恩給の一部を貯蓄し、それを今回フォーラムにと申し出て頂いたとのことでもあります。このような大切な浄財を、京都をよくする一助にと当フォーラムに託して頂いたことに、改めてその期待と責務を感じざるをえません。今後も引き続いて、このようなお申し出を多方面から期待するためにも、今回のご寄付を真に有効に生かさなければと思います。そのためにどうしたらいいかは、フォーラム関係者の意見を広く聞きながら、これから考えていきたいと思ひます。

(内藤正明/京のアジェンダ21フォーラム代表)

『京都チャレンジエコライフの集い』における京のアジェンダ21へのメッセージ

私は大正11年9月、西九条の東寺の近くで、9人兄弟の末っ子として生まれました。大正13年頃に一家は紫野御所田町に転居し、此処で幼年期を過ごしました。発育が悪く、体格も知能も劣った子供でしたが、家族の愛情に支えられ、よき友達を持ち、教育環境にも恵まれ、そして美しい山や川で遊び、のびのびと成長しました。このような京都の街の自然や文化の豊かさが、私を何とか教師として、一戸の主としてやっていけるまでに育ててくれたのだと思います。終戦直後、尾張のT中学に赴任したのですが、町は戦災で焼けて住む家もなく、生徒の親御さんや先生方の世話でやっと近郊に下宿を見つけ、食糧の援助も受け、戦後の混乱期を乗り切ることが出来ました。有り難いことです。物は乏しくても、乏しさを分かち合い、助け合う時代でした。近頃のように物が豊かになると人情が薄れ、豊かさのみを追求し、心が貧しくなるのでしょうか。それならいっそのこと物が無い方がよいのではとさえ思えます。

尾張の地に来た当時、気づいたことは、尾張の人々が京都に憧れを持っていることでした。生徒の家庭を訪問すると、どこでも抹茶を振舞われるし、庭など京風に造っている所が多かったことです。今はもうそのようなことはありません。建つ家はどれも今風で、人の目はすっかり東京の方に向いています。何としても文化の中心としての京都をとり戻して欲しいと思ひます。

一昨日、知人宅を訪ねたとき聞いた話ですが、「近所で放火があり幸い消防署への連絡が早くボヤですんだ、同じ頃に8件の放火があり、どれも全半焼した」とのことでした。強盗や殺人事件も多発していますし物騒な世の中になったものです。不景気のせいだと言う人も多いのですが、これは心の問題です。嘗ては印度や中東が世界の精神文化の中心でしたが、その時代は終り、今や日本が、それも京都が世界の精神文化の中心となるべき時で、京都にはその能力と責任があるのではないのでしょうか。私は、この十年来、高等学校で宗教教育をするべきだと考えて来ました。それは特定の宗教についてではなく、宗教とは何か、「その本質」を考えるものです。世界の殆どの人はそれぞれに自分の宗教を持っているのは何故か、その教義は、宗教と科学との関係は、他宗教との争いの絶えないのは何故か、それを解決する方法があるのか。など考えることは多いし、またそれを指導する教師の養成も大変です。でも京都にはそれを解決し、その理念を確立することが出来る人材は豊富です。最後になりましたが、このフォーラムの目指す環境問題について一言述べます。環境ビジネスと言う言葉をよく耳にしますが、環境と金儲けがセットになったような気がして不愉快です。環境を悪化させる根本原因を除くことこそが重要なのです。私に出来ることは、このフォーラムに協力することです。それが私を育ててくれた京都に報いることになるのだと信じ、特別寄付を申し出た次第です。必要な費用に比べれば僅かですが、資金の一部として活用願えれば幸いです。今後ともできる限りの協力を惜しむものではありません。

(矢内 乃武夫(やない のぶお) / 1999.12.18 国立京都国際会館にて)

ひと
まち
きたる

榎原 義道 さん

(北山の自然と文化をまもる会 代表)



待ち人来る、ではなく「ひと・まち・きたる」。
京のアジェンダ21フォーラムの会員で、積極的に活動
されている方を紹介していきます。

榎原義道さん：愛知県出身、京都市伏見区在住。92年に「北山の自然と文化をまもる会」を発足、北山の環境保全や林道開発に伴う環境破壊の問題に取り組む。ご職業は団体職員。

環境問題に関心をもつようになったきっかけは何ですか。

やっぱり、子どもの頃の原体験かな。僕は愛知県の挙母市(現・豊田市)出身ですが、矢作川は子どもたちの遊び場で、僕も川や山でよく遊びました。それが、1960年代になると汚されていって、自然が自分たちから離されていく、そういう体験があったから、80年代に大見(左京区)に残土投棄場をつくるという話が出たときには、心が敏感に反応しましたね。

「北山の自然と文化をまもる会」では、どのようなことを行ってきたのですか？

91年頃、北山に大規模な林道を建設するという計画があるのを知りました。そして、京都府の計画したルートでは、貴重な生態系が破壊され、文化的・自然的景観である「峠」もつぶされてしまうということがわかった。そこで僕たちは、自分たちで調査を行って、行政に再調査とルート変更を求めていきました。

独自のアセスメントですね。どんな調査をしたのですか？

月に3回くらい、2年ほどかけて、自分たちの足で山を歩きました。そして、植物の分布や伐採の影響などを調べるわけです。その結果、当初の計画ルートが通るとこ

(右上へ)

(左下から)
ろにホンシヤクナゲの巨木林があることがわかって、行政に働きかけました。最終的には、ルートはそこを避けることになり、峠も一部は保全することができました。

会員に、北山の地域住民の方はいらっしゃるのですか。会員230人中10人くらいですね。今、地元の林業家の皆さんなどと話し合いを続けています。山が守られていくために必要なことを一緒に考えていきたいと思っています。北山の生み出す水や空気の恩恵は、街に住んでいる僕らも受けている。そういう意味では、みんな地域住民。一緒に力を合わせる大切だと思いますよ。

このフォーラムに何か提言をどうぞ。

アジェンダの名前が、まだまだ市民に浸透していませんよね。市の環境基本条例づくりに関わったとき思ったのだけど、市民は環境についてちゃんと意見を持っているのです。だから、みんなの意見を自由に聞く場が必要。でも、現実にはそういう場がない。市民みんなの声を吸い上げるようにしてアジェンダをつくっていけば、本当の「市民参加」が実現すると思います。

どうもありがとうございました。

「北山の自然と文化をまもる会」の活動については、TEL / FAX : 075-601-6543、E-mail : yoshimichi.sakakibara@ma4.seikyoku.ne.jpまで。

京のアジェンダフォーラム入会のご案内

【年間会費】

一口1,000円を単位として、会員ごとに次の口数分とします。

(1)個人会員 1口 (2)団体会員 2口以上

* 会費は郵便振替または銀行振込をご利用ください。

郵便振替口座：00960-7-143508

京のアジェンダ21フォーラム

銀行振込口座：三和銀行京都支店 普通 5468383

京のアジェンダ21フォーラム

【会員の特典】

ニュースレター・各種案内資料の無料送付、ワーキンググループへの参加、主催行事への参加など

みやこ

京のアジェンダ21フォーラムニュースレター 2000年冬(第2号)

発行：京のアジェンダ21フォーラム事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地

京都市環境局環境企画部地球環境政策課内

TEL. 075-222-4037 FAX. 075-222-4039

E-mail. ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL. http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/

企画：同フォーラム広報・会員担当タスクチーム

編集：佐藤 桂子・竹花 由紀子・宮田 晃一郎

アートディレクター：藤本 芳一・山口 洋典

このニュースレターは古紙100%の再生紙に大豆油インクを使用しています。